



つながり

令和7年1月1日発行

Tel:29-5210

Fax:21-3456

平田中学校

二次元コードから
閲覧可能です。

学校の敷居が低くなった!? 地域活動への学校開放!

文部科学省は、「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた 学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進施策について(中教審 答申)」<平成27年12月>で「地域における学校との協働による活動の充実」を、次のように述べています。「学校内の施設で活動を行う方が適当と考えられるものについては、①施設整備面での工夫、②余裕教室の活用など施設の有効利用を図ることによる工夫、③施設管理面での管理責任等の課題の解決を図るための工夫について、教育委員会が主体となり、学校や地域協育ネット等と積極的に連携・協働して解決策を見いだすことが求められる。」

本号では、地域住民の体力・心の活力・認知機能向上を目指す活動<県レクリエーション協会主催>に対して、学校施設を開放している平田中学校を紹介します。

全11回にわたり 学校施設を活用して開催した「健康スポレクひろば」<平田中>

【第2回 9/26(木)】



体操やポールウォーキングの基礎は、室内で教えてもらいました。<地域住民>

最後は、エアコンの効いた調理室で脳トレにもなるゲームを楽しみました。<地域住民>



広い校庭の日陰を使わせてもらって実際のポールウォーキングを楽しみました。<地域住民>

プレハブ倉庫を使えるように改修したり、国際交流支援員や英語教諭と交流させてくれたり、校長先生には、とても感謝しています。<三原 会長>

【第11回 11/28(木)】

地域の皆さんには、遠慮なく学校施設を活用していただきたい。生徒との交流も可能な限り実現したい。学校の敷居を少しでも低くし、地域の皆さんと一緒に生徒の成長を見守っていきたい。

<白川 校長>

地域の方とのボッチャはとても楽しかった。温かい雰囲気ですぐに居心地が良く「あそこねらったらいよいよ」等の教え合いも楽しかった。<中学生>

日頃、若い人との交流はほとんどなく、本当に楽しかったし、元気が出ました。またやりたいです。

<地域住民>

始めは、ルールもこつも分からなかったけど、とにかく楽しかった。<中学生>

学校が、子供たちの学習や生活の場だけでなく、地域住民が集う地域コミュニティの場となり、子供と大人の交流も生まれています。生徒の言葉「ぶち楽しかった」「とにかく、一緒にいるだけで楽しかった」が、印象的でした。学校教育と社会教育が一体となった「子供と大人のウェルビーイング」を高める活動だと感じました。

